



保護者の方々が経験した小学校の運動会はどのようなものだったでしょうか。武蔵小学校では、コロナ禍の影響もあったのですが、令和2年度から赤白対抗形式ではなく、体育発表会形式の要素が強い運動会となっています。ですから、徒競走の順位はつけませんし、団体競技(「玉入れ」「綱引き」「台風の目」など)でも、便宜上赤白に分かれています。勝ち負けで点数はつきません。

体育発表会形式を否定はしませんが、本当にこのままの運動会でよいのかという疑問は残ります。昨年度までの運動会のメリットとデメリットを考えてみました。

赤白対抗ではない運動会のメリットとデメリット

	メリット	デメリット
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center; background-color: #d9ead3;"> 体育発表会 形式の 運動会 </div> <p>赤白対抗なし</p> <p>点数をつけない</p> <p>順位を決めない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 順位や点数つけないことで、体育嫌いや運動が苦手な児童の辛さを軽減できる。 ○ 得点係や応援団の児童を配当しなくてよい。応援(応援歌や掛け声)の練習がいらぬ。また、職員の担当も不要。 ○ 決勝係は順位を見極めなくてよい。ゴールした後も自分が走ったレーンごとに並ぶので、決勝係の仕事が容易である。 ○ 得点発表や優勝旗授与等が省略でき、開閉会式の時間短縮ができる。 ○ 赤白旗(団旗)、等旗、応援団用ハチマキ、優勝旗等の用品を管理しなくてよい。 ○ 運動会が半日になり、時間的な制限があるなか、赤白対抗でないほうが行事運営がスムーズである。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 徒競走やリレーが軽視され、表現(ダンス)にのみ重きがおかれる傾向がでてくる。(ダンシング玉入れ、ダンスをしてから綱引きなど、表現がない学年も踊ることに違和感がある。) ○ 赤白対抗ではないので、モチベーションがあがらない。また、他学年への応援も盛り上がらない。 ○ 運動会で輝ける児童の機会を奪っている可能性がある。 ○ 競争や勝敗をつけることに過敏になり過ぎている。元々、体育・運動・スポーツには競争という特性があり、勝者と敗者が互いにリスペクトしあう機会が失われる。 ○ 運動会の歌(ゴーゴーゴー)を歌うのに違和感がある。

他にもあるかもしれませんが、おおよそ上記のようなメリットとデメリットが考えられます。職員の見解も分かれていますので、本年度は子どもたちの考えも参考にして、運動会の形式をきめることとしました。そのため、5・6年生の子どもたちにアンケート調査をしています。

質問項目は大きく2つです。

- (1) 他の学校では、赤白対抗で点数をつける運動会をやっている学校があります。みなさんは点数をつける運動会に関してどう思いますか。
 - ① みんなで楽しむ中で、点数をつけて競い合う運動会をしたい。
 - ② みんなで楽しむ中で、昨年のように点数をつけない運動会をしたい。
 - ③ どちらがいいとはっきりしない。
- (2) 今年の運動会をもっと楽しいものとするために、点数をつける以外でアイデアはありませんか。

5・6年児童への運動会アンケート結果

回答数 100人

(問1) 他の学校では、赤白対抗で点数をつける運動会をやっている学校があります。みなさんは点数をつける運動会に関してどう思いますか。

- ① みんなで楽しむ中で、点数をつけて競い合う運動会をしたい。・・・(61)人
- ② みんなで楽しむ中で、昨年のように点数をつけない運動会をしたい。・・・(18)人
- ③ どちらがいいとはっきりしない。・・・(21)人

【主な理由】

①点数をつける	②点数をつけない	③はっきりしない
<ul style="list-style-type: none"> ○みんながやる気をもつ。 ○負けて悔しくても、それが経験になる。 ○1年生の時の赤白対抗の運動会が楽しかった。(6年生) ○緊張感があってワクワクする。 ○自然とやる気が起こる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○みんな頑張っているのに負けたら悔しい。 ○平和が一番。 ○徒競走の順位付けに抵抗がある。 ○負けると面白くない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○立場がそれぞれある。 ○競い合って楽しいと思う人もいれば、楽しくない人もいる。 ○どちらもメリットとデメリットがある。 ○点数自体気にしない。

(問2) 今年の運動会をもっと楽しいものとするために、点数をつける以外でアイデアはありますか。(主な回答)

- 競技数を増やしたい。
- ゲストを呼びたい。
- 先生も一緒にできる種目があるとよい。
- 応援団があるとよい。
- 昨年の大玉転がしのように、全校児童で思い出に残る競技をしたい。
- みんなと弁当を食べたい。

全校児童と先生も参加する種目は楽しいかもしれないね。



運動会の主役は子どもたちです。上記の意見を参考にして運動会の形式を決めていきます。どちらの形式になっても、子どもたちの活躍や成長を披露できる運動会にしたいと考えています。